

# GOVERNOR'S

Rotary  
District2530

イマジン  
ロータリー

## MONTHLY LETTER 4

Rotary International District 2530 Vol.10

ガバナー月信 2023年 / 4月号

2023



喜多方市 日中線しだれ桜並木

### CONTENTS ガバナー月信 2023年4月号

ガバナーメッセージ.....	2	福島北RC創立60周年記念式典開催報告 .....	6	マスコミ懇談会開催報告.....	10
国際ロータリー第2800地区多地区合同スキーキャンプ参加報告 .....	3	第3回ガバナー会議参加報告 .....	7	マスコミトップインタビュー.....	11
中央分区 IM 開催報告 .....	4	県北第一分区 IM 開催報告 .....	7	新会員紹介.....	12
県中分区 IM 開催報告 .....	4	地区チーム研修セミナー開催報告 .....	8	2月会員数報告 .....	13
県北第二分区 IM 開催報告 .....	5	会長エレクト研修セミナー(PETS)開催報告.....	8	職業奉仕委員会.....	14
第4回全国 RAC 委員長& RA 代表者合同会議参加報告 .....	5	いざ、かまくら！～Let's enjoy winter～開催報告.....	9	公共イメージQRコード.....	14

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤正道

ガバナー事務所 〒966-0092 福島県喜多方市字清水台2-92 (南)中野商店2F  
TEL: 0241-23-6016 FAX: 0241-23-6026 E-mail: 22-23sato@ri2530.com

地区事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町 26-3  
TEL: 024-954-6755 FAX: 024-954-6615 E-mail: chikujimusyo@ri2530.com

## ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2530 地区  
2022-23 年度ガバナー

**佐藤 正道**

(喜多方RC)

桜の開花も平年に比べ早まり、入学シーズンは桜の歓迎を受けることが出来そうです。一般的には新年度を迎え、新たな気持ちでスタートを切る時期ですが、ロータリーの門出はまだ3カ月先です。つまり今年はまだ3カ月あるということで、思い残しの無いよう、皆さんがイメージした姿になっているかもう一度確認してみましょう。

4月はこれまで「母子の健康月間」でしたが、「環境」がロータリーの重点分野に加わったことを受け、昨年10月のRI理事会において4月を「環境月間」とすることに同意し、「母子の健康月間」は7月になりました。

昨年9月25日福島市で「第2回スポGOMI大会inふくしま」が、福島ロータリークラブ主催、県北第一・第二分区及び県北13クラブ共催のもと開催されました。スポGOMIは、「ゴミ拾いはスポーツだ！」を合言葉に、環境美化とスポーツを組み合わせた地域貢献活動として、(一社)ソーシャルスポーツイニシアチブ代表の馬見塚健一氏が2008年に創始されました。今では高校生チームが集う「スポGOMI甲子園」まで開催され、全国的な広がりを見せており、さらには日本国内ばかりでなく世界20カ国余りに波及しています。そして今年の11月には第1回スポGOMIワールドカップが日本において開催されるようです。各国の予選も始まっているようですが、日本予選はこれからだそうで、日本中を沸かせたサッカーワールド

カップやWBCの一流選手だけでなく、私たち一般人も世界の舞台に立つチャンスがあるこの大会に、是非チャレンジしてみてもはどうでしょうか。

海洋ごみの8割は街からもたらされると言います。このようなムーブメントにより、これ以上海を汚さないために陸上のゴミを拾い、海洋汚染を食い止める運動が世界中に広がることを期待したいと思います。馬見塚氏は、究極の目標は街からごみが無くなることだと言っておられますが、私たちはロータリーらしくごみを捨てない人を育む取り組みに発展していけたらと思います。

みなさん既にご存知かと思いますが、先月の月信でお知らせしました故味戸道雄パストガバナーのご逝去に続き、牧公介パストガバナー、鈴木喬二パストガバナーがご逝去されました。牧公介様は、元国連職員だったこともあり、私が青少年交換委員長を務めていた時に、流暢な英語で来日学生と談話され、学生に励ましの言葉をかけておられたのが印象的でした。そして、誰に対してもいつも穏やかに平に接しておられるお姿に、ロータリアンとしての品格を学ばせていただきました。鈴木喬二様に私が初めてお会いしたのは、志賀直前ガバナーがガバナーエレクトの時の国際協議会壮行会でしたが、それから1年半以上も経過しているにもかかわらず、公式訪問の際に壮行会でご挨拶させていただいたことをご記憶されておられ、またクラブの例会にも頻繁に出席されてお元気だったようです。天寿を全うされ、最後まで地区運営にご尽力いただきましたお二人の偉大なロータリアンのご冥福をお祈りしたいと思います。

## 国際ロータリー第2800地区多地区合同スキーキャンプ参加報告 1月22日・23日



喜多方ロータリークラブ  
幹事 角 田 龍 一

今年はじめの1月22日、23日に山形県蔵王に於いて、青少年交換留学生を対象にしたウインターキャンプが開催されました。当クラブで受入れしている、ヴィッキーの同伴者として2日間参加してきましたのでご報告させていただきます。

今回のウインターキャンプは、コロナの影響で3年振りの開催となりました。第2800地区の山形が毎年開催しているスキーキャンプに、11年振りに交換留学を再開した2540地区（秋田）と福島県の3地区合同での開催となりました。

今回は、初めてスキーを滑る留学生と経験者が入り混じっていたので、レベル別にグループ分けをしてスキー教室を行いました。当地区留学生のモーリーは経験者で問題なく1人で滑れるレベルでした。逆にヴィッキーの方は初めてのスキーで、靴の止め方、歩き方から指導していきました。経験者グループは、自由にリフトに乗って時間のある限り滑り続けていました。私は経験者グループに付いて一緒に滑っておりましたが、初心者グループを引き受けてくれた、2800地区の佐藤委員長には初心者を指導いただきましたが、かなり大変だったようでご負担をおかけしました。

1日目のスキー教室が終了して宿舎に戻り、交流会ということで自己紹介の時間が設けられました。各自留学生とロータリアンが簡単な自己紹介をして、互いを認識することができました。今回の参加者は、2800地区(山形)が3名、2540地区(秋田)が2名、2530地区(福島)が2名の7名の留学生が参加しました。自己紹介が終わって夕食になりましたが、それはまるで学校の給食みたいに参加者全員が非常に盛り上がっ

ておりました。

今回の宿はロッジ形式で部屋割りをしての宿泊となりました。各部屋とも深夜遅くまで明りが消えない状態でした。

2日目も朝からスキー教室になり、初心者組も多少は滑れるようになったようで、2日目は全員一緒にスキーを楽しみました。今回の宿泊施設がスキー場に隣接していることもあり、一番乗りで滑ることができたことは、非常に気持ちの良い時間を楽しむことができました。昼食はスキー場のレストランで好きなものを食べるのができ、終始全員が楽しんで参加していました。

今回、初めて参加させていただいて感じたことですが、留学生にとっては異国の地で同じ境遇にいることに対して共感できる仲間が増えたことは、様々な不安を取り除くには非常に良い機会になったと感じております。また、私どもロータリアンにとっても留学生を受け入れている者同士として、様々なお話ができたことは今後の参考にもなりますし、大変勉強になった2日間でありました。単純にスキーをただの内容ですが、本当に有意義な時間になりました。



## 中央分区IM開催報告 2月4日



中央分区ガバナー補佐  
**初瀬 照夫**  
(郡山RC)

- 郡山北RC 深澤純一会長エレクト
- 郡山西北RC 國分淳一会長エレクト
- 郡山安積RC 伊庭正寿副会長
- 郡山アーバンRC 井上 厚副会長
- 郡山コスモスRC 桑原雅人会長
- 福島グローバルRC 山田 覚会長
- 郡山RC 平松敏郎副会長

中央分区インターシティーミーティング開催報告  
210名(465名会員総数)参加  
郡山ビューホテルアネックス 2月4日(土)  
IM実行委員長鈴木禎夫(郡山RC)  
13:00～新入会員セミナー 参加者31名  
石黒秀司PDG講演  
15:00～中央分区ガバナー補佐(初瀬照夫)講話  
「私の考えるクラブ奉仕」  
15:20～各クラブ代表によるフォーラム  
発表テーマ  
「当クラブのクラブ奉仕について」  
郡山西RC 鈴木功一会長エレクト  
郡山東RC 後藤吉宏  
公共イメージ・IT委員長  
郡山南RC 遠藤伸剛親睦活動委員長

17:45～懇親会  
経験豊富な各クラブの代表から、奉仕の実践の熱い報告があり、懇親を深めながら、触れ合いながら次の奉仕の活性化を誓い合いました



## 県中分区IM開催報告 2月11日



県中分区ガバナー補佐  
**杉山 元巳**  
(船引RC)

さる2月11日ホストクラブ本宮ロータリークラブにて新会員セミナー・IMを開催。新会員セミナーの講師は佐久間英一パストカバナー、「今日からロータリアン」を教材として、これまでの体験談を交えて親しみやすい言葉でご教授頂き今後のロータリアンとしての心構えが出来ました。

IMでは、講師に元ラジオ福島アンナウンサー菅原美智子先生をお招きして「ようこそ福島の空へ」を講演いただきました。

コロナ渦で失われた言葉「挨拶」などユーモアを交えてお話を戴き日頃の言葉遣い、何気なく発している言葉が相手に与える影響など考え

させられるなど有意義なお話を戴きました。  
懇親会も和やかな中「アサヒビール園」にて行われ、作り立てのナマビールは格別で、ほろ酔いの中懇親を深めて有意義な一日を過ごせました。

地区より佐藤ガバナー 佐藤幹事お世話になりました。



## 県北第二分区IM開催報告 2月12日

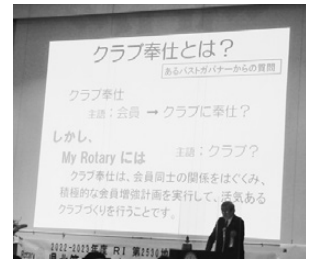


県北第二分区ガバナー補佐  
**網代 智明**  
(福島東RC)

県北第二分区IMが2月12日(日)13時30分より、佐藤正道ガバナー主宰のもと福島東RCがホストとなり、「クラブの活性化について」をメインテーマとして、福島市クーラクーリアンテ サンパレスにおいて開催されました。講師にはRI第2800地区パストガバナー鈴木一作様を迎え、佐藤日出夫地区幹事、中央分区ガバナー補佐初瀬照夫様、県北第二分区7クラブより90名の参加を頂きました。佐藤正道ガバナーの開会点鐘ののち、開会セレモニー、ガバナー、ガバナー補佐、ホストクラブ安齋文夫会長の挨拶ののち、各クラブ会長より、ガバナー公式訪問時の指導内容をもとに「クラブの活性化について」の考えを発表していただきました。

次に鈴木一作PGより、演題・標準RC定款第6条の1「クラブ奉仕の定義」を新入会員に正しく説明できますか?として講演で、鈴木PGが研究され

ている「ガイ・ガンディカー」のロータリー観をわかりやすく解説していただき、現在日本のロータリアンが考えるロータリーの原点は、ガイ・ガンディカーのロータリー観であり、ロータリーの活動こそが人間的成長をもたらす人生を豊かにする素晴らしい機会であることを学びました。グループディスカッションおよびグループ発表の後、ガバナーの総括、次年度ガバナー補佐予定者の挨拶があり、ガバナーの閉会点鐘で閉会となりました。懇親会では、アトラクションとして志賀昭裕様の素晴らしいアルパの演奏があり、ガバナー、鈴木PGを交えて県北第二分区の会員の親睦と交流を深め、意義ある研修とすることができました。参加いただいた皆様へ感謝を申し上げIMの報告といたします。



## 第4回全国RAC委員長&RA代表者合同会議参加報告 2月19日



ローターアクト委員長  
**渡辺 浩子**  
(福島21RC)

2月19日(日)東京のAP八重洲にて「第4回全国RAC委員長&RA代表者合同会議」に出席して参りました。出席者はロータリアン7割、ローターアクターは3割といったところでした。

今回の会議の趣旨は「ローターアクターもロータリー財団補助金を理解して活用しよう」ということで、プログラムもそのように組まれておりました。

まず高橋第2地域R財団コーディネーター補佐から「ロータリー財団の基礎概略」の講演がありR財団への理解と知識を深め、その後2つの事例発表がありました。

ひとつ目は、D2750 マリアナローターアクトクラブの事例で、わざわざこの会議のためにマリアナRACのRobbie Gerrieさんがグアムから来日され(1歳3か月のご子息も会議に参加!プレゼン中、重鎮のロータリアンが子守りに四苦八苦しておられまし

た)プレゼンテーションを行ってくれました。マリアナRACはRYLC(ローターアクト青少年指導者会議)を開催し対象者のニーズ調査を行うための資金「成功のためのパートナー補助金」を獲得し、「グアム行動健康・ウェルネスセンター」との協働により精神疾患、アルコール依存症、薬物乱用などで援助を必要としているグアムの若者への様々な回復プログラムを継続的に行っているとのこと。会場のローターアクターから積極的な質問もあり頼もしいと思いました。

ふたつ目は、D2660 大阪東RAC 王前雪子会長の「グローバル補助金への挑戦」。モンゴルの貧困や教育格差の課題に対し提唱クラブである大阪東RCがすでにグローバル補助金を活用し教育向上の支援プロジェクトを複数回行っており、大阪東RACも活動に参加していた経緯から、今回は満を持してRAC単独で挑戦しているとのこと。

残念ながら一度非承認となり、再申請に向けて内容の見直しをしているとのこと、承認に至らなかった理由や審査への対応、実施国パートナーの重要性など、ローターアクターが自らの経験に基づいての事例発表は、他のローターアクターのみならずロータリアンにとっても大いに刺激と学びになりました。ぜひ当地区の財団委員会の方々と参加したかったと思わせる中身の濃い内容でした。

# 福島北RC創立60周年記念式典開催報告 2月21日



福島北ロータリークラブ  
会長 樋口 幸一

2023年2月21（火）、16:00～ 創立60周年記念式典・記念講演・記念祝賀会をクーラクーリアンテサンパレスにおいて開催いたしました。



開会に先立ち会員全員で記念撮影を行ない、全員でおもてなしの準備をし、来賓・来訪クラブ・お客様をお迎えいたしました。式典は滞りなく進行し、京都祇園東からお招きした上柳女将の記念講演「おもてなしの素の心」では「奉仕の精神」にも通じる学びがありました。

祝賀会では芸妓・舞妓による祝舞で始まり、祝賀会特別料理とお酒で和やかに親睦の中、お座敷遊びの体験アトラクションもあり、思い思いに記念撮影をして、皆さまの記憶に残る時間を過ごすことが出来たことと思います。



## 記念式典次第

司会	阿部 友弘
開会点鐘	会長 樋口 幸一
開会挨拶	創立60周年記念実行委員長 大和田 知昭
物故会員黙祷	
国歌斉唱	
ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー 宮崎 泰明
来賓・来訪クラブ紹介	会長 樋口 幸一
会長挨拶	会長 樋口 幸一
来賓祝辞	福島市長 木幡 浩 様 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 佐藤 良元 様 福島北ロータリークラブ 会長 相 元 章 様
祝電披露	司会 阿部 友弘 様
記念品贈呈	会長 樋口 幸一 様
歴代会長感謝状授与	会長 樋口 幸一 様
	2017～18年度会長 伊藤 信弘 様
	2018～19年度会長 太田 浩之 様
	2019～20年度会長 鈴木 宏幸 様
	2020～21年度会長 半澤 泰夫 様
	2021～22年度会長 木村 春 様
ロータリー財団 地区補助金贈呈式	国際ロータリー第2530地区 ガバナー 佐藤 正道 様
記念事業紹介	創立60周年記念実行委員長 大和田 知昭 様
記念講演「おもてなしの素の心」	祝賀会 芸妓・お茶屋主人 女将 上柳 満彩美 様
閉会挨拶	会長 エレクト 山川 正人 様
閉会点鐘	会長 樋口 幸一 様

## 祝賀会次第

司会	阿部 友弘
オープニング ～祝舞～	
会長挨拶	会長 樋口 幸一 様
乾杯	国際ロータリー第2530地区 東北第二分地区 ガバナー 補佐 網代 智明 様
中締め	副会長 伊藤 信弘 様

福島北ロータリークラブは1963年2月27日、福島ロータリークラブ様のサポートの下、初代会長宮村義一、幹事 坪井孚夫、チャーターメンバー29名でスタート致しました。その後、活発な活動と会員増強に努めながら発展し、現在51名の会員、名誉会員1名となりました。その間、ロータリーの本質である奉仕の理想を心に会員各位が今日まで脈々と歴史をつないで参りました。

60周年の今年の当クラブのスローガンは、「未来に向けて、持続する奉仕活動」と致しました。その場その場で完結する奉仕活動ではなく、その効果が10年先、20年先、それ以上に持続する奉仕活動をしましようという趣旨で、記念事業として次の4つの活動を行ないました。

- ① まちなか広場ピアノ装飾時計寄贈
- ② 10年前のわたしへ～みらい郵便～ answer
- ③ 第4回ふくしまジュニアチャレンジ  
～福島北RC賞～
- ④ 「きぼうのとり」冊子広告協賛  
70周年に向けて今後も活動を継続していきます。



## 第3回ガバナー会議参加報告 2月20日



国際ロータリー第2530地区  
2022-23年度ガバナー

佐藤正道  
(喜多方RC)

去る2月20日グランドプリンスホテル新高輪において第3回ガバナー会議が開催されました。終了後には同ホテル内で2750地区の地区大会、RI会長歓迎晩餐会があるため限られた時間内での会議となりました。

協議事項は、議題①ガバナー会8条委員会「翻訳委員会」の継続について、議題②辰野克彦直前RI理事との面談について、議題③トルコ・シリア大地震災害支援について、次に報告事項として、①第4回ガバナー会議（ガバナー・ガバナーエレクト、ガバナーノミニエ情報交流会）について、②ロータリー文庫事務所の移転について、③2022-23年度ガバナー会決算見込みについて、そして最後に「効果的な公式訪問の有り方について」、「クラブのロゴ

更新の取り組みについて」をテーマにテーブルディスカッションの予定でした。

協議事項、議題①については継続、議題②は前回の会議で日本のロータリーを考えるワーキンググループを作ることが決議されましたが、蒸し返すような反対論も出てきたことに私も猛返論しましたが、最終的にはワーキンググループは組織されず、次回DG、DGE、DGN情報交換会を開催することになりました。議題③は、賛同する地区からの支援金を取り纏めて3月末に送金することとしました。

報告事項①はクラブ活性化セミナーに合わせ4月21日に開催することになりました。②は、ロータリー文庫が6月末をもって黒龍芝公園ビルを退去することの説明がなされました。③は、単年度としては赤字決算になる見込みだが、余剰金にて補填をする旨の説明がありました。協議事項が紛糾した事もあり、時間切れで最後のテーブルディスカッションは実施できませんでした。

日本独自のロータリー組織を議論する場がまた先送りになり、RIが提案する組織再編に飲み込まれていくようで、何とももどかしい会議でした。

## 県北第一分区分IM開催報告 2月25日



県北第一分区分ガバナー補佐  
箭内一典  
(福島中央RC)

県北第一分区分のインターシティーミーティングは、2023年2月25日（土）二本松御苑を会場に、二本松あだたらRCがホストクラブを務め、87名の参加者で開催されました。

佐藤正道ガバナーの開会挨拶の後、NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の専務 武藤正敏氏が「道の駅を拠点とした地域活性化」というテーマで基調講演を行った。

東日本大震災の福島第一原発事故直後から被害調査と放射性物質の調査研究に、各大学の協力を取り組んだこと、その後の首都圏との交流事業や東和への移住促進、地元産物を原材料にした6次化商品開発の取組等により、地域活性化を図ってきた事などが紹介された。未曾有の原発事故災害に遭いながらも、里山の恵みと人の輝くふるさとづくりを目指して来た人々の苦勞と力強さを感じた講演であった。

IMの第二部では、参加者が11のグループに分かれ、「クラブ活性化」について約20分間のディスカッションを行い、その後7グループの代表者がそれぞれにディスカッションの要約を発表した。各グループで真剣に意見交換が行われた事を窺わせる、素晴らしい活性化案やユニークな活性化案が次々に発表され、非常に有意義なディスカッションであった。

最後に、佐藤正道ガバナーがIMの総評を述べた後に、参加した大橋廣治PG、平井義郎PG、芳賀裕PGから、ロータリークラブ活性化のアドバイスを頂いた。



## 地区チーム研修セミナー開催報告 2月26日



次期地区幹事

**坪井 大雄**  
(福島RC)

2月26(日)福島市のウエディングエルティに於いて「地区チーム研修セミナー」が開催されました。

佐藤ガバナー、右近ガバナーエレクト、そして石黒地区研修リーダー、芳賀次期地区研修リーダーからのご挨拶をいただいた後、4セッションのセミナーを行いました。

- ・第1セッション「RI テーマと地区の方針」  
講師：右近ガバナーエレクト
- ・第2セッション「地区チームの役割と責務」  
講師：平井パストガバナー（時期地区運営管理委員会委員長）
- ・第3セッション「地区管理と運営」  
講師：芳賀次期地区研修リーダー

右近ガバナーエレクトからは「国際協議会」参加報告、内容説明がなされ、それを受け地区チーム一丸となってガバナー年度に向けて準備、活動をしていくことになりました。

最後に第4セッションとして会場移動・設営して「分科会」（各委員会・次期ガバナー補佐会議）を開催しました。メンバーの顔合わせはもちろんのこと各種研修セミナー等、年間活動計画・運営についてそれぞれ協議を行いました。

※開催に先立ち、ご逝去された三名のパストガバナーの皆様に対して、追悼と感謝の意を込めセミナー参加者全員で黙祷を捧げました。



## 会長エレクト研修セミナー(PETS)開催報告 3月4日

次期地区幹事

**坪井 大雄**  
(福島RC)

3月4日(土)福島市のウエディングエルティにおいて「会長エレクト研修セミナー(PETS)」を開催いたしました。

ここ2年は、コロナ禍によりオンラインでの開催でしたが、本年は期間短縮(一日開催)ではありましたが、リアルでの開催となりました。

佐藤ガバナー、右近ガバナーエレクト、そして石黒地区研修リーダー、芳賀次期地区研修リーダーからのご挨拶の後、以下の通りのセッション内容でセミナーを実施しました。

第1セッション  
「RI テーマと地区活動方針、目標」  
右近ガバナーエレクト

- 第2セッション
- ①「地区の管理と運営」 佐藤ガバナー
  - ②「クラブ管理と会長の責務」  
石黒パストガバナー(地区研修リーダー)
  - ③「地区運営規定とクラブ規定について」  
芳賀パストガバナー(次期地区研修リーダー)

続いて第3セッションでは、各スタッフ委員会(3委員会)、各ライン委員会(10委員会)の委員長より、委員会の運営理念や活動計画等について説明がなされました。

最後に第4セッションは、「分科会」として実施、以下の通りの協議を行いました。

- ①分区ごとに次期ガバナー補佐と会長エレクト

の懇談(分区の活動計画等)

②委員長会議(次年度計画と予算案について)

この様に「PETS」全般を通して、会長エレクトの皆様へ情報提供を行い、会長となるべく準備を整えていただきました。

なおセミナー終了後、パストガバナー有志の皆様のご配慮で、希望者に対して懇談、情報交換の場を設けていただき、懇親を深めることができました。





## いざ、かまくら！～Let's enjoy winter～開催報告 2月26日



喜多方ローターアクトクラブ  
会長 齋藤 菜生

「ロータリーさんと雪合戦がしたいです！」  
こんな柔軟な発想を持つ仲間がいて最高に幸せです。しかしながら「雪合戦 大人」と検索すると「怪我」の2文字が…結果として、小学校の校庭に大きなかまくらを作り、七輪でお餅を焼いて食べるイベントとなりました。「お酒なくて大丈夫?」「お肉焼かなくて大丈夫?」と的確なアドバイスをくださった伊藤二郎会長に感謝…酒池肉林のおかげで好意と友情が益々深まりました。

今回イベントの開催場所として選んだのが、廃校になった小学校の校庭です。毎日その小学校の前を通勤しており、見る度に「もったいないなあ…何か活用できないかなあ…」と考えておりました。今回のイベントについて行政区長さんに相談すると「ぜひ使ってください!」と快諾いただきました。

喜多方ロータリーさんと地元企業の皆さまにご協力いただき、10日間ほどでかまくらが完成!作業日は天候にも恵まれ、青天・白銀・純真…コンクリートジャングルから解き放たれ、自然と触れ合う時間がいかに尊いか再確認できました。

イベント当日は交換流学生やロータリアン、ローターアクター、ご家族の皆さまを中心に楽しい交流会となりました。地区内にお住まいの方も顔を出してくださいました。スキーウェアを着た子どもたちが雪のなかを元気いっぱい走り回っている姿が印象的でした。幼い頃、父がショベルカーで作ってくれた雪山でソリ遊びをしていた記憶が蘇り、望郷の念が押し寄せてきました。また、大人の運動不足解消のため実施したスノーフラッグ選手権も好評いただきました。ポリオ撲滅募金にもご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

最後になりましたが、小学校の校庭と地区の施設を貸していただいた喜多方市山都町一ノ木地区の皆さまに心より御礼申し上げます。



# マスコミ懇談会開催報告 3月10日



公共イメージ・IT委員会  
委員長 町田 晃  
(郡山南RC)

2023年3月10日（金）マスコミ懇談会を、郡山ユラックス熱海、Zoomオンラインのハイブリッドで開催し、約90名の皆様にご参加いただきました。

また、3.11の前日で大変お忙しい日であるにも関わらず、マスコミ7社より会場、オンラインでご参加いただきました。深く感謝申し上げます。

第一部として、第1地域公共イメージコーディネーター補佐（ARPIC）国際ロータリー第2790地区2017-18年度ガバナー寺嶋哲生様より、「ロータリーとメディア」というタイトルでご講演いただきました。ロータリーとロータリーの活動について、核心をついた内容をととてもわかりやすく説明されました。私たちにとってはもちろんのこと、マスコミの方々にもしっかりとロータリーをわかっていただくお話でした。

第二部として、マスコミの方とロータリアンによる「メディアから見たロータリー～地域社会から求められる奉仕とは」というテーマでパネルディスカッションを行ないました。

マスコミ7社より、福島民報社 郡山本社報道部長 佐久間裕様、福島民友新聞社 郡山総支社報道部長 高橋敦司様、日本放送協会 福島放送局長 細田修二様、福島テレビ 報道部長 大山要様、福島中央テレビ 報道部長 木村良司様、テレビユー福島 報道制作局郡山報道部長 水津邦治様、福島放送 取締役報道制作担当報道局長 中貞人様にパネラーとして出席いただきました。ロータリー側のパネラーは、佐藤正道ガバナー、右近八郎ガバナーエレクト、早川敬介ガバナーノミニ、町田晃 公共イメージ・IT委員会委員長の4名です。コーディネーターは善方邦彦 公共イメージ委員会委員が務めました。

マスコミからロータリーはどう見えているか、どのような活動が報道対象として取り上げられるか、マスコミへの効果的なアプローチ

は、など様々な忌憚のない意見交換ができました。

ロータリーは敷居が高いイメージがある、地道な活動が大事ではないか、マスコミ側から取材のアプローチをしたくなる様な活動、時代と地域にマッチした活動、が望ましい、ファンを作る、ゆるキャラを作ったらどうか、等々たくさんの具体的なご意見、提言をいただきました。

ロータリーにとっての公共イメージとは何か、公共イメージ向上にどのように取り組むか、マスコミとの関係をどのように築いていくか、大きなヒントが得られたと思います。

以下のQRコードをクリックすると当日の会議が視聴できますので是非ごらんいただき、皆様それぞれのご理解とご感想を基に、クラブの活動に活かしていただければ幸いです。



寺嶋哲生様



パネルディスカッション  
(ハイブリッド)



寺嶋様講演



パネルディスカッション

# 時代のニーズにあった放送と 安全安心の暮らしのために 福テレ

福島テレビ株式会社

代表取締役社長 **横山 淳 氏**

所属：福島ロータリークラブ

## プロフィール

1955年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、80年株式会社フジテレビジョン入社。87年社長秘書、99年秘書室部長、2007年秘書室長、09年執行役員秘書室長、13年取締役秘書室長、17年常務取締役、フジ・メディア・ホールディングス取締役を経て、2019年福島テレビ株式会社代表取締役社長に就任。



Rotary Club  
RC  
MC×RC  
Mass Communication  
トップリーダーインタビュー

## RC初入会で触れた 福島人のあたたかさ

生まれも育ちも東京、大学を卒業してフジテレビジョンに入社しましたが、転勤もななくずっと東京で過ごしていました。そんな私が弊社の社長に就いた2019年に、はじめて東京から離れて暮らすことになりました。2011年に震災や原発事故による未曾有の被害を受けたことは知っていましたが、それ以外はほとんど知りませんでした。

右も左もわからない街で支えになったのは、商工会議所や福島ロータリークラブ（以下、RC）の皆さんとの交流でした。すぐに打ち解けることができ、街のこと、地域経済のことなど、いろいろ教えていただきました。

東京で「東京レインボーロータリークラブ」（2017年解散）の立ち上げに関わりましたが入会をはじめ、クラブの活動もなんとなく知っている程度でしたが、いざ入会してみるとさまざまなイベントや行事があって驚きました。

そうした活動のおかげで多くの方とつながりを持ち、福島のこともたくさん学ぶことができ、入会

してよかったですと思いますね。

## 伝えねばならないことを正確に 迅速に伝えるのがテレビの使命

RCは各種奉仕・支援活動や地域住民と協同で植樹や清掃活動など行っていますが、そのことだけで報道されることはあまりありません。RCの活動がメディアで紹介されることはRCにとって重要なことです。それはRCの存在や活動を正しく知っていただくことで興味を持つてもらい新たな参加によるクラブの発展、そしてさらなる奉仕活動の充実へと繋がるのではないのでしょうか。正のスパイラル効果です。

さて、テレビというメディアは公共の電波を使っており、放送法という法律に縛られています。それだけにニュースとして成立させるためには、その必然性、視聴者のニーズに合っているか、報道せねばならないものか、となります。一方、テレビは映像という大きな強みを持っています。それだけに効果は大きいですが扱える時間は限られています。ですから突然取材依頼のFAXを送るのではなく、より早く情報をテレビ局に伝えることが重要です。また現場の記者にRC活動を理解してもらうことも大事です。そうすれば彼らはプロ

です、切り口を考えよう扱えば視聴者が受け入れ易く必然性あるものになるか考えます。ですから記者との人間関係づくりも大切です。**テレビ局の強みで  
県民の暮らしと命を守る**

2020年の秋から弊社を含めた民放4局とNHKの5局で、「福島の復興」をテーマに各局の垣根を超えて番組を制作・放送する5局共同キャンペーンを展開しています。この企画は地元テレビ局がどのように福島の復興の力になれるかを共通のテーマとし、キャスターの相互出演や共同取材、共通番組など、テレビ局の持つ強みを存分に生かしたものとなっています。

さらに弊社では阿武隈川流域17市町村と独自に協定を結び、災害時における市町村の情報を放送やSNSなどでいち早く情報発信することにしています。今後県内の全市町村とも結ぶ予定です。この協定でエリアごとの災害情報をすばやく発信し、住民の皆様の安全を守る一助となればと思っています。県民の安全安心な暮らしを守ることに、それも我々メディアの大切な使命だと胸に刻み、今後も県民によりそう企業でなければならぬと思っています。

# 新会員紹介

●中央分区 郡山安積 RC  
**金野真奈美** こんの まなみ  
 ●入会日 2023年1月31日  
 ●職業分類 飲食業  
 ●勤務先 緑

●東北第一分区 福島 RC  
**鈴木 恭一** すずき きょういち  
 ●入会日 2023年2月9日  
 ●職業分類 医師  
 ●勤務先 福島赤十字病院

●東北第一分区 福島西 RC  
**大内 裕子** おうち ひろこ  
 ●入会日 2023年2月6日  
 ●職業分類 生命保険  
 ●勤務先 日本生命保険相互会社福島支社福島営業部

●会津分区 会津坂下 RC  
**戸内 英景** とのうち ひであき  
 ●入会日 2023年2月2日  
 ●職業分類 神職(禰宜)  
 ●勤務先 心清水八幡神社

●会津分区 田島 RC  
**渡部 一** わたなべ はじめ  
 ●入会日 2023年1月2日  
 ●職業分類 建設  
 ●勤務先 有限会社 マルヨ建匠

●会津分区 会津若松南 RC  
**寺島 秀一** てらしま しゅういち  
 ●入会日 2023年2月27日  
 ●職業分類 サッシ業  
 ●勤務先 (株) エスティ

●いわき分区 いわき平東 RC  
**青木 真一** あおき しんいち  
 ●入会日 2023年2月8日  
 ●職業分類 ホテル業  
 ●勤務先 グランパークホテルパネックスいわき

●東北第二分区 川俣 RC  
**齋藤 高志** さいとう たかし  
 ●入会日 2023年1月29日  
 ●職業分類 土木工事  
 ●勤務先 (有) 大島建設

●東北第二分区 川俣 RC  
**前川 崇** まえかわ たかし  
 ●入会日 2023年2月1日  
 ●職業分類 保険業  
 ●勤務先 J's Plan

●相双分区 原町 RC  
**谷田部真敏** やたべ まさとし  
 ●入会日 2023年1月12日  
 ●職業分類 小売・菓子製造・軽飲食業  
 ●勤務先 株式会社やまさん

●相双分区 原町 RC  
**齋藤 祥市** さいとう しょういち  
 ●入会日 2023年2月16日  
 ●職業分類 レストラン  
 ●勤務先 (資) ニューさいとう

●相双分区 富岡 RC  
**建野 成恒** たての なりつね  
 ●入会日 2023年2月1日  
 ●職業分類 運輸業  
 ●勤務先 株式会社 宮田運輸 福島事業所

●相双分区 富岡 RC  
**鈴内 浩二** すずうち こうじ  
 ●入会日 2023年2月15日  
 ●職業分類 倉庫事業  
 ●勤務先 株式会社 エイブル

●相双分区 富岡 RC  
**高橋 将人** たかはし まさと  
 ●入会日 2023年2月15日  
 ●職業分類 農業  
 ●勤務先 株式会社 サン・クリーン 農業事業部

●相双分区 富岡 RC  
**高橋 直樹** たかはし なおき  
 ●入会日 2023年2月15日  
 ●職業分類 解体工事  
 ●勤務先 株式会社 サン・クリーン

●県中分区 船引 RC  
**桑原 直人** くわはら なおと  
 ●入会日 2023年2月1日  
 ●職業分類 林業  
 ●勤務先 フォレストクリエイイト桑原

## 物故会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

●いわき平中央 RC  
**鈴木 喬二** すずき きょうじ  
 2023年2月23日 ご逝去  
 享年 94歳  
 ローターリ-歴 61年

●須賀川 RC  
**味戸 道雄** あじと みちお  
 2023年2月1日 ご逝去  
 享年 97歳  
 ローターリ-歴 60年

●三春 RC  
**幕田 勝壽** まくた かつよし  
 2023年1月5日 ご逝去  
 享年 84歳  
 ローターリ-歴 48年

●船引 RC  
**牧 公介** まき こうすけ  
 2023年2月20日 ご逝去  
 享年 89歳  
 ローターリ-歴 44年



# 2月会員数報告と My ROTARY 登録率・生年月日登録率

※3月13日現在

分 区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	前月未会員数 (内女性)	1日付け入会者数 (内女性)	2日～月末入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月未会員数 (内女性)	例会 回数	My ROTARY 登録率※	生年月日 登録率※
中央 分 区	郡 山	97 (0)	102 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	102 (0)	3	26.47 %	37.25 %
	郡山西	40 (0)	41 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (0)	5	70.73 %	17.07 %
	郡山東	31 (2)	31 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (2)	3	87.10 %	61.29 %
	郡山南	90 (13)	88 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	88 (13)	3	75.00 %	100.00 %
	郡山北	39 (0)	41 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (1)	4	53.66 %	21.95 %
	郡山西北	42 (2)	43 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (2)	4	27.91 %	13.95 %
	郡山安積	56 (3)	53 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	53 (2)	3	24.53 %	28.30 %
	郡山アーバン	29 (14)	29 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (14)	3	72.41 %	34.48 %
	郡山コスモス	17 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	2	100.00 %	64.71 %
福島グローバル	17 (2)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	3	68.75 %	93.75 %	
中央分区分小計		458 (38)	461 (38)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	461 (38)	33	60.66 %	47.28 %
県 北 第 一 分 区	福 島	95 (7)	99 (6)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	99 (6)	3	98.99 %	100.00 %
	二本松	39 (4)	40 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (4)	2	72.50 %	97.50 %
	福島南	65 (6)	67 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	67 (7)	3	74.63 %	100.00 %
	福島西	24 (1)	24 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	25 (2)	3	80.00 %	100.00 %
	福島中央	47 (3)	48 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (4)	3	93.75 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	35 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (5)	2	100.00 %	100.00 %
	福島21	41 (4)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	3	85.71 %	100.00 %
	県北第一分区分小計		346 (30)	355 (31)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	356 (32)	19	86.51 %
会 津 分 区	会津若松	51 (0)	51 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (0)	4	39.22 %	96.08 %
	喜多方	43 (0)	48 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (2)	4	85.42 %	100.00 %
	会津若松西	25 (1)	25 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (2)	3	72.00 %	96.00 %
	猪苗代	27 (4)	26 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (4)	3	80.77 %	88.46 %
	会津坂下	33 (0)	33 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	34 (0)	3	64.71 %	23.53 %
	田 島	34 (0)	36 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (0)	4	63.89 %	75.00 %
	会津若松南	14 (1)	18 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	19 (1)	4	31.58 %	100.00 %
	会津若松城南	24 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	4	45.83 %	100.00 %
	喜多方中央	30 (1)	30 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	会津若松中央	19 (6)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (6)	3	85.71 %	100.00 %
会津分区分小計		300 (13)	312 (16)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	314 (16)	36	66.91 %	87.91 %
い わ き 分 区	いわき平	49 (0)	52 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	51 (0)	3	29.41 %	100.00 %
	いわき小名浜	71 (0)	71 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	71 (0)	4	18.31 %	98.59 %
	いわき勿来	36 (0)	36 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (0)	3	36.11 %	97.22 %
	いわき内郷	25 (3)	21 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (3)	3	23.81 %	57.14 %
	いわき常磐	15 (0)	15 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (0)	3	46.67 %	33.33 %
	いわき平東	38 (3)	44 (4)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	45 (4)	4	77.78 %	88.89 %
	いわき四倉	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0	50.00 %	100.00 %
	いわき平中央	28 (4)	27 (6)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	26 (6)	3	30.77 %	92.31 %
	いわき桜	10 (10)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	3	90.00 %	100.00 %
いわき分区分小計		274 (20)	278 (23)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	277 (23)	26	44.76 %	85.28 %
県 北 第 二 分 区	飯 坂	39 (5)	39 (5)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	38 (5)	5	100.00 %	100.00 %
	福島北	50 (1)	51 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	保 原	28 (3)	29 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (3)	4	55.17 %	100.00 %
	福島東	36 (3)	38 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	38 (3)	3	78.95 %	100.00 %
	梁 川	17 (3)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	4	75.00 %	100.00 %
	川 俣	35 (2)	34 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (2)	4	61.11 %	100.00 %
	福島しんたつ	15 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	2	47.06 %	100.00 %
	県北第二分区分小計		220 (19)	224 (18)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	225 (18)	26	73.90 %
県 南 分 区	白 河	40 (2)	39 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (2)	4	30.77 %	17.95 %
	須賀川	43 (1)	46 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	45 (1)	4	15.56 %	88.89 %
	東白川	12 (0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	4	45.45 %	100.00 %
	石 川	34 (1)	35 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (1)	4	31.43 %	100.00 %
	矢 吹	11 (1)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	3	27.27 %	45.45 %
	白河西	65 (6)	66 (6)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	65 (6)	3	98.48 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	4	50.00 %	91.67 %
	白河南	15 (0)	14 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)	4	14.29 %	0.00 %
	県南分区分小計		232 (11)	234 (11)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	232 (11)	30	39.16 %
相 双 分 区	原 町	21 (0)	25 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	26 (1)	2	11.54 %	96.15 %
	相 馬	29 (4)	28 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (4)	3	28.57 %	100.00 %
	浪 江	42 (2)	47 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (3)	2	29.79 %	100.00 %
	富 岡	38 (5)	46 (7)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	50 (7)	2	27.45 %	100.00 %
	原町中央	40 (6)	42 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (6)	2	19.05 %	100.00 %
	南相馬	22 (2)	21 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (2)	3	85.71 %	100.00 %
相双分区分小計		192 (19)	209 (23)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	214 (23)	14	33.69 %	99.36 %
県 中 分 区	本 宮	34 (8)	42 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (9)	3	28.57 %	100.00 %
	三 春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	22 (2)	3	72.73 %	90.91 %
	常 葉	25 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	2	50.00 %	100.00 %
	滝 根	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	1	66.67 %	100.00 %
	船 引	46 (3)	46 (3)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	45 (3)	3	68.89 %	100.00 %
	小 野	19 (1)	17 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (1)	3	23.53 %	52.94 %
県中分区分小計		149 (14)	155 (15)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	153 (15)	15	51.73 %	90.64 %
2530地区合計		2,171 (164)	2,228 (175)	4 (0)	10 (1)	10 (0)	2,232 (176)	199	57.16 %	84.76 %

※7/1現在会員数には、7/1入会者7名を含んでいます。



## 職業奉仕は 例会から始まる

委員長 齋藤 純一  
(会津若松西RC)

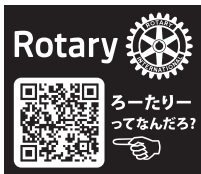
私なりに職業奉仕を定義づければ次のように表現したいと思います。

「職業奉仕とは、各職種の代表やリーダーと地域のリーダーであるロータリアンが例会をはじめロータリー活動を通して切磋琢磨して自分を磨き、利己と利他の揺れ動く心の調和を図りながら、各々の職業によって職業サービスと職業倫理をもって、顧客の満足を図り永続的顧客創造を行い、関係者である社員や取引先様の教育と高潔性を高め、同業者にはロータリーの精神（こころ）と職業倫理の大切さや成功ノウハウを伝播し同業のレベルアップに貢献できるように務め、さらには地域の各種団体にも積極的に参加しロータリーの精神（こころ）と職業倫理の大切さを伝え、地域社会にも貢献するロータリーの伝道師であり大使ともいえるメッセージを育成することである。」「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」とあります。有益な事業・立派な事業にしていくための志を持った人を育てていこうと言うのがロータリーの目的ではないでしょうか。言い換えれば、ロータリーの伝道師であり大使を育成する

ことであり、そのことは奉仕の理念・奉仕の心を奨励し育むことにもつながることと考えます。ではどこで学ばいいのでしょうか？それは、例会です。例会の目的とは何でしょうか？例会は、多くの職種の指導者と知り合いになり、切磋琢磨して自分磨きをして、ロータリーが大切にしてきた職業倫理の向上と職業奉仕に自ら努めるとともに、それを所属する業界に広め、ひいては地域社会にも広めるためであるとされています。そして、自分が例会に出席することによって、他のロータリアンと奉仕の情報交換を行う場です。例会は年間多いところで平均44回位です。つまり年間で44時間しかありません。前半の22時間と後半のプログラムなどの22時間しかないのです。例会の目的である自己を磨く場ですが、皆さんのクラブでは職業奉仕に係る話題や業界の情報交換や職業上の悩みや相談など行われているのでしょうか？会長挨拶ではどの程度職業奉仕について話されているのでしょうか？後半の22時間では職業奉仕に関するプログラムはどの程度組まれているのでしょうか？自分の職業、永続的顧客、同業者、各種団体、地域社会へロータリーの精神（こころ）と職業倫理を伝播しなければならないロータリーの伝道師であり大使としての役割を持つロータリアンはもう一度例会のあるべき姿を見直さなければならないのではないのでしょうか？米山梅吉翁は「例会は人生の道場である」と言う含蓄のある言葉を残されています。

### ● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪  
スマホのカメラでQRコードを読み取ってください



一般向けサイト



Facebookページ

### 今月の表紙紹介

写真提供：  
(一社) 喜多方観光物産協会



昭和59年に廃線となった旧国鉄日中線跡地を整備した遊歩道には全長3キロにわたり約1,000本のしだれ桜が植栽されています。日本最大級のしだれ桜並木が楽しめます。喜多方さくらまつり  
4月7日～4月26日開催